助川山保全くらぶ
第１４９号
（平成 10 年 11 月 28 日創刊）

助川山保全くらぶ

http://www.net1.jway.ne.jp/zg6y-hri/

令和５年 11 月１日
会　長 岡田　譲
編集者 鈴木 睦男
TEL. 36-6538

台風１３号による助川山の被害状況

（鈴木）

★９月８、９日に茨城県に甚大な被害をもたらした**台風１３号**による**助川山の被害状況**を纏めた。台風１３号は、市の天気相談所によれば、気圧が 1000hPa 程、雨量は 100mm/時、270mm/日程で日立市では**記録的大雨**と云うことだった。

★この台風で、ひねり沢は遊歩道の斜面が崩れ、歩道が削られ、また橋の損壊など大変な被害状況で修復には長時間と費用が掛かると予想される。

★その他、各 Tr では特に被害は見られなかったが市は**助川山を入山禁止**とし、ﾈｲﾁｬｰｾﾝﾀｰ当番やﾊﾟﾄﾛｰﾙは市との話し合いで継続することとなった。

★「写真で見るひねり沢の被害状況」

２条滝手前崩壊

木道橋水路損壊

橋桁迄土砂堆積

ﾄﾝﾈﾙ上流崩壊

橋付近損壊

風の谷上流崩壊

植樹地除草・園内整備作業

橋桁

保全項目	実施日	作業内容	作業の様子
除草作業	９月５日 ９月 19 日 （定例）	・「かたつむり」植樹地の除草作業を実施。初回は、植樹地東側の一番遅く植えた地域の草刈りで東側と下部植樹地で樹木から樹木へからまるヤマノイモなどの蔓性植物の除去。 ・２回の作業で全植樹地の除草を終了することが出来た。	
	９月７日 （野草）	・くぬぎ広場西側植樹地の除草作業実施。参加人員５名で多少は草が残るかと予想されたが全面終了出来た。 ・管理道路側に移植したヤブツバキは半数程度根付いていたが成長はあまり芳しくなかった。	
	10 月３日 10 月 24 日 （定例、景観）	・管理道路沿えやしゃぶしＴｒ入口植樹地の除草作業を実施した。何時もながら急坂の作業は大変だが、頑張った。 ・１０月３日の作業での残りは、24 日に作業をし、終了した。やしゃぶし Tr 終了後、「ひよどり越え」の除草作業を実施。	
	10 月 17 日 （定例）	・おむすび池付近の植樹地の林床除草作業を実施した。平成 12 年の植樹だが、樹木は土壌が悪く成長が遅い。 ・林床にはハギがまだらに生育しており、丁度花の時期でもあり、林床の低木として残して除草を実施した。	
管理道路保全作業	９月 12 日 ９月 26 日 10 月 10 日 （景観）	・８月から 10 月に掛け、数回に亘り管理道路に垂れ下がる樹木の整理を、法面崩れ防止に配慮しながら実施した。 ・おむすび池手前の「バイパス」付近から「ひよどり越え」付近迄を作業した結果、作業後は大変スッキリした。 ・今後は、おむすび池～頂上間管理道路の整理を検討したい。	

台風によるビオトープの被害と復旧作業

ミズバショウの被害状況

★台風 13 号による被害状況

柵内に土石堆積

高さ 40cm 程土砂

★ミズバショウが土石に埋もれる！

土石でﾐｽﾞﾊﾞｼｮｳ埋没

土砂下で１部確認

復旧への取組み状況

★ビオトープの修復作業状況
堆積土石の撤去作業は大変だが、**出来ることから始めた。**

★１０月に実施した復旧作業。
・水路復旧。
・土石の１部排出とﾐｽﾞﾊﾞｼｮｳ株の確認。

水路修復

大きい株の状況

土砂下の株

林業少年団行事特例処置

★表記少年団行事については、当くらぶで安全確認出来た場所でくらぶ員指導・監視のもと実施の事前報告、了解を得ての特例が認められた。

★これにより、例年年末から年明けに開催されている行事は実施可能となった。

忘年会の開催予定

★１２月 17 日(日)に令和５年忘年会開催予定。

★場所は集会所予定、事情により変更可能性有り。

★１年間、事故無く作業を終了出来た事の締めを行う。

森の談話室

「森林インストラクター」について

★くらぶ員の木幡さんがこの夏に「**森林インストラクターの養成講座**」を１週間に亘り受講された。そこで保全くらぶ員にも広くご紹介したい。

★この森林インストラクターと云うのは、一般社団法人の「**日本森林インストラクター協会**」が実施し、認定しているもので、国の法律で、関係大臣の認可を得て実施されているようです。

★**森林インストラクターの役割**は、森林を訪れる人が心地よく、楽しく感じ、森林を深く理解できるよう色々な活動を通して手伝いが出来るよう知識と技術を習得することとしています。

(木幡)/(鈴木)

★目的は「**森の案内人**」と云うことで、我が**保全くらぶのモットー**と正に通じ、活動内容に重なるところが多いように思われる。

★但し、ブナの植樹や育成法など樹木の特性を理解しての扱いをしているか、これまでの対応に疑問も残るところもあります。

★山の保全活動に携わる者として資格の有無に拘わらず、考え方や知識は共有すべきものと思うのでくらぶ員にも啓蒙して行きたいと思っている。

★合格率は、３０～４０％程度と云われるが木幡さんには合格するよう頑張って戴きたいものです。

季節の花便り・・野草班

☆季節の野草便り

９月の大雨台風でひねり沢の野草が大変な被害を受けた。ユリワサビ、カキドオシやニワゼキショウ他は復活するか。

☆季節の樹木便り

ネイチャーセンター周囲の赤松が枯れ、現在30本位に達し、危険なので市に対応を依頼している。

担当：(鈴木)

パトロールだより

◆9月8､9日の台風は日立市に甚大な被害をもたらした。助川山市民の森もひねり沢を中心に各ﾄﾚｰﾙで土砂崩れや崩落が多発し、通行不能状態になった。被災後、市都市整備課では他の被災公園と同様、助川山市民の森は立ち入り禁止処置が講じられた。

◆その後、市公園係と保全くらぶが話合い、管理道路は歩行安全性が確認出来たとして、10/10以降は管理道路のみ通行可、他は侵入禁止継続となった。管理道路他から各ﾄﾚｰﾙへの入口にはロープを張り、侵入禁止の張り紙を掲示中。

◆今回の被害の復旧には、かなりの日数と予算が必要と考えられ、上記の処置は暫く継続される模様だ。パトロール時、来園者には事情を説明して戴き、各ﾄﾚｰﾙには絶対入らないよう注意して貰いたい。

◆今年は、枯損木の倒木が多発し、パトロール時には監視して戴き、倒木があれば作業日等で処理して戴きたいと考える。

担当：(梶川)

令和５年度のパトロール計画と実施日数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
計画	3	4	3	3	1	2	2					
実施	3	**2**	**2**	**3**	1	2	1					
中止	0	2	1	0	0	0	1					

おむすび池

季節の野草に誘われて

★保全くらぶのホームページの季節のお便りに助川山散策をしめくくるのが楽しい。写真を撮ったり、草花の名前を会報に掲載する。

★中学時代、植物育成場所がキセワタに限られていた。ボタンヅルは、花を見て開花時期を忘れる。

★助川山のほとんど遊歩道の植物は、憶えて掛けてきた心掛けが出来る。

★気になる間の野草が少しづつ消滅したことは、ミヤマウズラ、ミヤマウツボ、アズマイチヤクソウなどが助かる。

★すのこ場にて散策した生育が確認された。

★また、野草の名前を忘れたいけど、体力の低下で山を歩くのが、なくなることが心配なり、頑張って観察を続けたい。

来ず山に生育なくなった。

ことで見られる。

（睦）

くらぶ内外の話題

◆全く知らなかったが、助川山でも杉の沢への降り口や管理道路でも見かけるサルナシは栽培されていることを最近知った。ＮＨＫの朝の番組で岡山で栽培されている話を紹介していたが、実は梅干し位の大きさで結構人気があると云う。

◆サルナシは名前の通り、猿が好む果実と云うことで名付けられているが、最近までは野山に自生しているだけと思っていた。マタタビ科に属し、雌雄異株のつる性植物で果実の食感はキュウイフルーツに似ていると云われる。

編集後記

◆「季節の花便り」を纏めるのに遊歩道で見かけた花の写真を撮り、記録するが花の名前をふっと忘れる事が多くなった。自分が作ったﾊﾟﾝﾌﾚｯﾄを開き名前を確認することもあったりする。

◆日常生活でも物忘れをすることが多くなってきたが何かの調子にふっと思い出すこともあり“歳”を感ずる。